



学校法人近畿大学弘徳学園
近大姫路大学
近畿大学豊岡短期大学
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

平成20年度 事業報告書

学校法人 近畿大学弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園のあゆみ

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立した。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学である、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月1日に開学し、独立3年目にして3つの学校を経営する学園へと飛躍した。

さらに、近大姫路大学は、平成19年12月3日に文部科学省から、「教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」の設置認可を受け、平成20年4月1日より通学課程2学部及び通信教育課程を増設した。

これにより、本学園の経営規模は、2学部2学科及び、教育学部通信教育課程から成る近大姫路大学と、こども学科（同通信教育部）及び同短大附属幼稚園から成る近畿大学豊岡短期大学を運営する学園となった。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とする。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人格を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めている。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

I 法人の概要

(3) 学校法人の沿革

学校法人の沿革（概要）等

昭和	24年	2月	財団法人近畿大学設置認可
	26年	2月	学校法人近畿大学認可
	42年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学（家政科）設置認可
	44年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部（家政科）設置認可
	46年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学（幼児教育科）設置認可
	47年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部（幼児教育科）設置認可
	48年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学（児童教育学科）設置認可
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育学科廃止
	55年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園設置認可
	60年	7月	近畿大学豊岡女子短期大学 和花季会館竣工
	61年	10月	近畿大学豊岡女子短期大学家政科を近畿大学豊岡女子短期大学家政学科に名称変更
平成	元年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学を近畿大学豊岡短期大学に名称変更
		同	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園を近畿大学豊岡短期大学児童教育研究所附属幼稚園に名称変更
	3年	4月	近畿大学豊岡短期大学家政学科を近畿大学豊岡短期大学生生活情報学科に名称変更
		同	近畿大学豊岡短期大学児童教育学科を近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科に名称変更
	4年	3月	近畿大学豊岡短期大学児童研究所附属幼稚園を近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園に名称変更
	4年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部家政学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部生活情報学科に名称変更
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育学科に名称変更
	4年	11月	創立25周年記念式典
	4年	12月	学生食堂（ログハウス）竣工
	7年	4月	グラウンド完成
	12年	10月	近畿大学豊岡短期大学生生活情報学科を近畿大学豊岡短期大学生生活情報・福祉学科に名称変更
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部生活情報学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部生活情報・福祉学科に名称変更
	14年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部社会福祉士養成通信課程開設
	15年	11月	近畿大学豊岡短期大学及び近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園設置者変更認可 （学校法人近畿大学弘徳学園）
	16年	4月	学校法人近畿大学から学校法人近畿大学弘徳学園へ設置者変更
	17年	4月	近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学こども学科に名称変更
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科に改称
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部（生活情報・福祉学科、こども学科）収容定員変更届認可
	17年	5月	私立学校法改正に伴う寄附行為変更届認可
	18年	11月	近大姫路大学看護学部看護学科設置認可並びに寄附行為変更申請認可
	19年	4月	近畿大学豊岡短期大学生生活情報・福祉学科学生募集停止
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部生活情報・福祉学科学生募集停止
		同	近畿大学豊岡短期大学通信教育部（こども学科）定員変更
	19年	12月	近大姫路大学（教育学部こども未来学科）設置認可及び寄附行為変更申請認可
		同	近大姫路大学（教育学部こども未来学科通信教育課程）設置認可及び寄附行為変更申請認可

I 法人の概要

(4) 設置する学校・学部・学科等

近大姫路大学 所在地： 兵庫県姫路市大塩町2042-2
 看護学部看護学科
 教育学部こども未来学科
 通信教育課程 教育学部こども未来学科

近畿大学豊岡短期大学 所在地： 兵庫県豊岡市戸牧160番地
 こども学科
 通信教育部 こども学科
 通信教育部 社会福祉士養成通信課程
 通信教育部 生活情報・福祉学科（平成19年4月 学生募集停止）

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園 所在地： 兵庫県豊岡市戸牧160番地

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(単位：名)

	学部・学科等	入学定員	収容定員	在学(園)者数	備考	
近大姫路大学	看護学部看護学科	100	400	213	平成19年4月開設 (学年進行中)	
	教育学部こども未来学科	80	320	36	平成20年4月開設 (学年進行中) (3年次編入定員10)	
	通信教育課程 教育学部こども未来学科	1,000	4,000	30	平成20年4月開設 (学年進行中) (3年次編入定員300)	
近畿大学豊岡短期大学	こども学科	50	100	56	平成21年4月入学 定員変更(10名減)	
	通信教育部	生活情報・福祉学科	—	—	68	平成19年4月より 学生募集停止
		こども学科	2,000	6,000	3,464	
		社会福祉士養成通信課程 (修業期間：1年7ヵ月)	300	—	平成19年度 230 平成20年度 250	
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園	3歳児	—	100	26		
	4歳児	—		23		
	5歳児	—		25		

(平成20年5月1日現在)

II 事業の概要

(1) 事業の概要

学校法人を取り巻く環境は、少子化に伴う18歳人口の激減と100年に一度といわれる経済不況の中、大変厳しい状況にある。また、大学等の破綻も現実の問題となるなか、教育の永続性の見地からも収支の均衡に充分配慮した法人運営が求められている。

そこで、本学園では、定員を確保し、安定した教育研究活動と法人運営を行うため、本年度は他大学との差別化を図り特色ある教育研究活動の実現に向けた取組の一環として、近大姫路大学看護学部にも各種実習・演習に必要な実習モデル、シミュレータ、パソコン用ソフトなど導入した。豊岡短期大学では、情報処理室のパソコン等の整備事業を行い、最新の機器での授業が可能となった。

また、地域への学術的情報の発信と交流をはかる地域貢献活動等を重視する見地から、近大姫路大学では、シニア層むけの公開講座、一般市民対象の公開講演会等を今年も開催した。一方、豊岡短期大学では毎年、公開講座を開講しており本年度は、伝統芸能である歌舞伎の「中村吉右衛門」を講師に迎え、教養講座を開講するとともに、また地域交流事業としては「育ちあいのなかまづくり」を開催し、学生と地域との交流を図る活動も行った。

さらに、学資支援等による学費免除等の奨学事業は、奨学生規程を改正し、支援事業の充実を図るとともに、文部科学省の免許状更新講習プログラム開発委託事業である「教員免許更新制講習会」の実施についても積極的に取り組むことにした。

(2) 主な事業の実施と進捗状況

平成20年度に実施した主な事業は、次の通りであった。

近大姫路大学

○ 教育学部・通信教育課程の開設にかかる事業

- ・ 教育学部開設にかかる備品・図書・消耗品等の整備
- ・ 教育学部棟YMLシステム設備・機器の導入
- ・ 通信教育版教務システムの導入

教育環境充実等を目的とする施設設備に関する主な事業

- ・ 給水ポンプ取替及び漏水修理工事の実施
 - ・ 大学構内通路土間舗装修理の実施
 - ・ 学生用トイレ改修工事の実施
 - ・ 非常放送設備設置工事の実施
 - ・ 授業用膀胱超音波画像診断装置の購入
 - ・ 授業用食育SATシステム一式の購入
 - ・ 授業用シムベビーシミュレータ基本セットの購入
 - ・ 看護実習モデルの購入
 - ・ 授業「英語」用コンテンツマスターシステム及びソフト導入
- 他

地域貢献等を目的とする主な事業

- ・ シニアオープンカレッジの開催
 - ・ 公開講演会の開催
- 他

※地域貢献事業等は、内容を検討し平成21年度も実施予定

II 事業の概要

(2) 主な事業の実施と進捗状況

近大姫路大学

奨学事業

- ・学資支援奨学生への学費免除を実施
※平成21年度は、奨学事業の拡充を検討し、引き続き実施予定

免許状更新講習プログラム開発委託事業

- ・教員免許更新制講習会の実施
※平成21年度についても、教員更新制講習会を実施予定

○ 近畿大学豊岡短期大学

教育環境充実等を目的とする施設設備に関する主な事業

- ・情報処理室整備事業（サーバー、PC等更新）
※平成20年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）該当事業
- ・門扉取替工事
- ・食堂空調機器取替工事
- 他

奨学事業

- ・特待生及び課外特待生に対する学費免除を実施
※平成21年度も引き続き実施予定

地域貢献等を目的とする主な事業

- ・公開講座「中村吉右衛門と歌舞伎を楽しむ」開講
- ・公開講座「パソコン講座」の開講
- ・地域交流事業「育ちあいのなかまづくり」実施
- ・地域貢献事業「和花季祭（地産地消をテーマに）」実施
- ・地域子育て支援事業「こどもフェスタ、サロンde近大」等実施
※公開講座、地域交流事業等は、内容を検討し平成21年度も実施予定である。

○ 近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

地域の子育て支援を目的とする主な事業

- ・未就園児（2歳児）の受入
- ・キンダープラッツ（預り保育）の実施
- ・教育講演会、ミニコンサートの実施
※未就園児受入とキンダープラッツ（預り保育）については、平成21年度も継続的に実施を予定している。
教育講演会等も内容を検討し、実施予定である。

Ⅲ 財務の概要

(1) 決算の概要

① 資金収支計算書の状況 (単位：千円)

収入の部	金額	備考
学生生徒等納入金収入	1,353,954	・授業料、入学金、実習料等の納付金
手数料収入	75,825	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	5,383	・一般寄附金
補助金収入	217,213	・私立大学等経常費補助金他
資産運用収入	2,187	・預金利息
事業収入	8,013	・スクールバス代他
雑収入	15,640	・コピー代等その他の収入
前受金収入	372,224	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	51,720	・預り金等
資金収入調整勘定	△ 354,723	・前期末前受金等
前年度繰越支払資金	1,030,637	・前期末の現金預金
収入の部合計	2,778,071	
支出の部	金額	備考
人件費支出	1,210,267	・本俸、賞与、諸手当、所定福利等
教育研究経費支出	427,609	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	250,424	・学生募集経費等教育研究経費以外の経費
施設関係支出	6,399	・構築物等施設に関する支出
設備関係支出	74,514	・機器備品等設備に関する支出
その他の支出	71,339	・前期末未払金の支払等
予備費		・予備費使用額 (20,474千円)
資金支出調整勘定	△70,510	・期末未払金等
次年度繰越支払資金	808,029	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	2,778,071	

② 消費収支計算書の状況 (単位：千円)

収入の部	金額	備考
学生生徒等納入金	1,353,954	} ※資金収支計算書参照
手数料	75,825	
寄付金	15,855	
補助金	217,213	} ※資金収支計算書参照
資産運用収入	2,187	
事業収入	8,013	
雑収入	15,640	
帰属収入合計	1,688,687	} ・第1号・第4号基本金組入額
基本金組入額合計	△107,600	
消費収入の部合計	1,581,087	
支出の部	金額	備考
人件費	1,217,971	} ※資金収支計算書参照 (退職給与引当金繰入額含) (減価償却費含) (減価償却費含)
教育研究経費	607,612	
管理経費	279,793	
資産処分差額	767	・固定資産処分に係る除却費
徴収不能額	105	・未収入金の回収不能額
債務保証損失引当金繰入額	1,229	・代位弁済に係る回収不能見込額
予備費		・予備費使用額 (20,153千円)
消費支出の部合計	2,107,478	
当年度消費収支超過額	△526,391	・支出超過状態
前年度繰越消費収支超過額	△700,021	・支出超過状態
翌年度繰越消費収支超過額	△1,226,412	・支出超過状態

③ 貸借対照表 (単位：千円)

	金額	備 考
固定資産	5,754,567	・土地、建物、備品他
流動資産	831,390	・現金預金他
資産の部合計	6,585,957	
固定負債	34,406	・退職給与引当金他
流動負債	462,041	・未払金、預り金他
負債の部合計	496,447	
基本金の部合計	7,315,922	・1号、4号基本金
消費収支差額の部合計	△1,226,412	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6,585,957	

(2) 経年比較

① 資金収支の経年比較

(単位：千円)

収入の部	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
学生生徒等納付金収入	1,591,838	1,417,406	1,289,713	1,353,954
手数料収入	111,011	93,687	74,459	75,825
寄付金収入	5,741	5,776	7,080	5,383
補助金収入	108,904	749,672	167,832	217,213
資産運用収入	4,448	3,896	2,728	2,187
事業収入	7,271	4,755	5,371	8,013
雑収入	8,553	14,933	14,817	15,640
前受金収入	361,640	374,122	331,457	372,224
その他の収入	25,492	36,710	677,310	51,720
資金収入調整勘定	△388,375	△1,017,884	△405,916	△354,723
前年度繰越支払資金	3,727,252	3,610,621	2,397,806	1,030,637
収入の部合計	5,563,774	5,293,695	4,562,657	2,778,071

支出の部	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
人件費支出	596,725	673,036	836,210	1,210,267
教育研究経費支出	291,562	383,994	351,302	427,609
管理経費支出	152,356	231,925	448,322	250,424
施設関係支出	1,803,203	2,176,559	40,317	6,399
設備関係支出	22,051	187,555	121,866	74,514
資産運用支出	5,741	0	0	0
その他の支出	78,772	1,009,404	1,784,249	71,339
予備費				
資金支出調整勘定	△997,256	△1,766,583	△50,244	△70,510
次年度繰越支払資金	3,610,621	2,397,806	1,030,637	808,029
支出の部合計	5,563,774	5,293,695	4,562,657	2,778,071

② 消費収支の経年比較

収入の部	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
学生生徒等納付金	1,591,838	1,417,406	1,289,713	1,353,954
手数料	111,011	93,687	74,459	75,825
寄付金	6,221	6,178	13,167	15,855
補助金	108,904	749,672	167,832	217,213
資産運用収入	4,448	3,896	2,728	2,187
事業収入	7,271	4,755	5,371	8,013
雑収入	8,553	14,933	16,873	15,640
帰属収入合計	1,838,246	2,290,528	1,570,143	1,688,687
基本金組入額合計	△900,318	△1,553,729	△1,887,293	△107,600
消費収入の部合計	937,928	736,798	△317,150	1,581,087
支出の部	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
人件費	607,693	668,209	845,781	1,217,971
教育研究経費	343,226	436,747	512,479	607,612
管理経費	168,334	249,138	480,857	279,793
資産処分差額	2,509	0	1,983	767
徴収不能額	0	0	0	105
債務保証損失引当金繰入額	0	0	0	1,229
予備費				
消費支出の部合計	1,121,761	1,354,094	1,841,100	2,107,478
当年度消費収支超過額	△183,833	△617,295	△2,158,250	△526,391
前年度繰越消費収支超過額	2,259,357	2,075,525	1,458,229	△700,021
翌年度繰越消費収支超過額	2,075,525	1,458,229	△700,021	△1,226,412

③ 貸借対照表

(単位：千円)

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
固定資産	3,622,103	5,898,691	5,873,321	5,754,567
流動資産	3,612,121	3,054,221	1,063,049	831,390
資産の部合計	7,234,225	8,952,912	6,936,369	6,585,957
固定負債	20,728	15,901	25,472	34,406
流動負債	1,370,672	2,157,752	402,596	462,041
負債の部合計	1,391,400	2,173,653	428,068	496,447
基本金の部合計	3,767,300	5,321,029	7,208,322	7,315,922
消費収支差額の部合計	2,075,525	1,458,229	△700,021	△1,226,412
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	7,234,225	8,952,912	6,936,369	6,585,957

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

※資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

※消費収支とは

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態を明らかにするものであり、1年間の事業成績を判断するもので、企業会計における損益計算書に近いものといわれている。

(2) 経年比較

上記は、本学園における資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表の経年比較をした表である。

本学園は、平成16年度に近畿大学より法人分離独立し、それまで保有した自己資金を原資に4年制大学新設等の事業をおこなってきた。したがって、前年度に新たに開学した4年制大学近大姫路大学看護学部と、今年度開設した、教育学部と通信教育課程が完成年度を迎えるまでは、資金収支計算書における自己資金の増加はあまり見込めない状態となっている。

消費収支の状況においても、平成17年度以降の収支の状態は支出超過となっている。これは、近大姫路大学の開学に係る設置経費を集中して投下した結果であり、完成年度までは収支の不均衡を想定内に押さえる努力をしなければならないと考えている。

しかしながら、平成20年度決算では、当年度の支出超過額は、多少改善している。これは、「学年進行」が進み、学生生徒等納付金収入等の収入増加のがあったためと考えられる。

今後は、学生生徒等納付金以外の収入獲得と、冗費の削減に取り組むとともに、収支の均衡に配慮しつつ、自己資金の計画的な保有に努め、充実した教育研究活動の環境整備に取り組むとともに、安定した学園経営を目指したいと考えている。

III 財務の概要

(3) 財務比率比較

主要財務比率の経年比較

比率名		算式	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H19全国平均	評価
収入構成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	86.6%	61.9%	82.1%	80.2%	54.0%	～
		帰属収入						△
	寄付金比率	寄付金	0.3%	0.3%	0.8%	0.9%	2.7%	高い値が良い
		帰属収入						×
	補助金比率	補助金	5.9%	32.7%	10.7%	12.9%	10.2%	高い値が良い
		帰属収入						△
支出構成	人件費比率	人件費	33.1%	29.2%	53.9%	72.1%	49.6%	低い値が良い
		帰属収入						×
	教育研究経費比率	教育研究経費	18.7%	19.1%	32.6%	36.0%	34.8%	高い値が良い
		帰属収入						○
	管理経費比率	管理経費	9.2%	10.9%	30.6%	16.6%	7.3%	低い値が良い
		帰属収入						×
	借入金等利息比率	借入金等利息	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	低い値が良い
		帰属収入						○
	基本金組入率	基本金組入額	49.0%	67.8%	120.2%	6.4%	12.1%	高い値が良い
		帰属収入						×
減価償却費比率	減価償却額	6.0%	5.1%	10.5%	9.7%	9.9%	～	
	消費支出						△	
収支バランス	人件費依存率	人件費	38.2%	47.1%	65.6%	90.0%	91.7%	低い値が良い
		学生生徒等納付金						△
状況	消費収支比率	消費支出	119.6%	183.8%	-580.5%	133.3%	107.2%	低い値が良い
		消費収入						×
資産構成	自己資金構成比率	自己資金	80.8%	75.7%	93.8%	92.5%	85.3%	高い値が良い
		総資金						○
資産構成	基本金比率	基本金	80.7%	75.7%	100.0%	100.0%	96.6%	高い値が良い
		基本金要組入額						○
資産構成	固定資産構成比率	固定資産	50.1%	65.9%	84.7%	87.4%	85.4%	低い値が良い
		総資産						△
資産の備蓄	流動資産構成比率	流動資産	49.9%	34.1%	15.3%	12.6%	14.6%	高い値が良い
		総資産						△
負債の割合	流動比率	流動資産	263.5%	141.5%	264.0%	179.9%	247.9%	高い値が良い
		流動負債						×
負債の割合	前受金保有率	現金預金	998.4%	640.9%	310.9%	217.1%	320.9%	高い値が良い
		前受金						×
負債の割合	固定負債構成比率	固定負債	0.3%	0.2%	0.4%	0.5%	8.8%	低い値が良い
		総資金						○
負債の割合	負債比率	総負債	23.8%	32.1%	6.6%	8.2%	17.2%	低い値が良い
		自己資金						○
負債の割合	固定比率	固定資産	62.0%	87.0%	90.2%	94.5%	100.0%	低い値が良い
		自己資金						○

※全国平均は、平成20年度版「今日の私学財政大学・短期大学編」の大学法人から抜粋

上記は、財務比率の経年比較と全国平均との比較をおこなったものである。

(3) 財務比率比較

すでに、述べたとおり、本学園は、少子化時代を生き抜くことを目指し、法人独立と同時に、短期大学と附属幼稚園だけの学校経営から、4年制大学を基盤とする方向へ大学経営の軸足を転換するとともに、キャンパスの中心も、兵庫県の北部に位置する豊岡市から将来の発展が期待できる姫路市に新転地を求め、平成18年度から集中的に新キャンパスに資金を投下して来た。

その結果、新設の2学部と通信教育課程の設置が実現し、学園経営を発展の軌道に乗せる基盤がようやく整ったところである。そうした資金投下の影響から、消費支出は支出超過となり、財務比率も一時的に悪化したが、想定内の現象であると考えている。

また、今のところ本学園は、借入金はなく、入学試験での定員確保と通信教育課程の完成年度にむけた取り組みが軌道に乗れば、学年進行とともに財務の内容は確実に改善すると考えている。

III 財務の概要

(4) その他

① 補助金の状況

平成20年度 学校法人近畿大学弘徳学園補助金交付額一覧

(単位：円)

近大姫路大学	私立大学等経常費補助金（一般補助）	97,068,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	21,023,000
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	46,055
	姫路市シニアオープンカレッジ助成金	87,000
	小計	118,224,055
近畿大学豊岡	私立大学等研究設備整備費等補助金	14,288,000
	私立大学等経常費補助金（一般補助）	30,510,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	23,709,000
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	6,295
	小計	68,513,295
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園	兵庫県私立学校（幼稚園）経常費補助金	28,116,000
	豊岡市私学振興事業補助金	1,000,000
	地域わくわく陽だまり活動事業補助金	360,000
	私立幼稚園預かり保育等推進事業補助金	1,000,000
	小計	30,476,000
	合計	217,213,350

② 科学研究費等外部資金の状況

平成20年度 科学研究費補助金交付一覧

(単位：円)

	研究種目	所 属	職名	氏 名	直接経費	間接経費
研究代表者	萌芽	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	A	500,000	0
	基盤（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	B	700,000	210,000
	基盤（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	C	1,200,000	360,000
	若手（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	D	1,000,000	300,000
	若手（B）	近大姫路大学 教育学部こども未来学科	講師	E	600,000	180,000
	基盤（C）	近畿大学豊岡短期大学 こども学科	講師	F	1,400,000	520,000
研究分担者	萌芽	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	G	100,000	0
	基盤（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	H	550,000	135,000
	基盤（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	I	350,000	105,000
	基盤（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	J	587,780	150,000
	基盤（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	K	100,000	30,000

平成20年度 姫路市政策研究費助成金交付一覧

(単位：円)

所 属	職名	代表者名	研究グループ名	交付決定額
近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	L	Lグループ	80,000
近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	M	Mグループ	270,000

※ 氏名及び研究グループ名は省略する。